

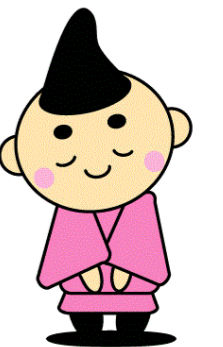


●感震ブレーカー比較一覧表(分電盤に設置するタイプ)

機器番号	①	②	③	④
機種名	ヤモリ	ヤモリ・デ・セット	パワーヤモリセット	ピオマ
設置箇所	分電盤	壁+分電盤	壁+分電盤	壁+分電盤
機器写真				
参考価格 ※1	2,750 円	5,500 円	9,350 円	10,780 円
自己負担額	950 円 ☝もっとも安価	2,500 円	6,350 円	7,780 円 😊比較的高価
遮断のタイミング	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知して3分後に遮断
寸法(mm) 幅×高さ×厚み	機器本体:66×145×55	機器本体:90×150×55 ワイヤー長さ:480	機器本体:90×150×55 遮断機:66×150×55	機器本体:62×87×47 遮断機:67×67×31
設置方法	①機器本体を両面テープで分電盤に貼付ける ②付属のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにす る場合、アルコールが乾いてから貼り付けてくだ さい	①両面テープで機器本体を壁に、バンド部分を 分電盤に貼付け ②付属のバンドをブレーカーレバーにひっかけ て設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにす る場合、アルコールが乾いてから貼り付けてくだ さい	①両面テープで機器本体を壁に、遮断機を分 電盤に貼付ける ②遮断機のバンドをブレーカーレバーにひっか けて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにす る場合、アルコールが乾いてから貼り付けてくだ さい	①機器本体を木ネジで壁に取り付け、遮断機 を両面テープで分電盤に貼付ける ②遮断機のバンドをブレーカーレバーにひっか けて設置
特徴	☝設置が簡単 😊蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない(動 作に影響はありません)	☝設置が簡単 ☝機器本体とバンドをワイヤーで繋いで分離 し、蓋付きの分電盤の蓋がほぼ閉まる 😊機器本体を両面テープで壁に貼り付けるた め、土壁や砂壁等、壁の材質によっては設置 できない	☝設置が簡単 ☝契約アンペア 75A 以上等ブレーカーレバー が硬いものにも使用できる 😊蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない(動 作に影響はありません) 😊機器本体を両面テープで壁に貼り付けるた め、土壁や砂壁等、壁の材質によっては設置 できない	☝遮断まで3分の猶予があり、避難時の照明 が確保できる ☝遮断後も機器本体が7分間光るため、分電 盤周囲の明かりが確保できる 😊蓋付きの分電盤の場合、蓋が閉まらない(動 作に影響はありません) 😊機器本体をネジで壁に取り付けるため、壁に 穴があく
累計設置実績	約80% (第①位)	約10% (第②位)	約0.2%	約0.3%

※1 参考価格は変動する場合があります。価格の変動があった場合、市のホームページを随時更新してまいりますので、最新の価格は市のホームページにてご確認ください。

取り付け後は、定期的に設置状態、動作の確認をお願いします。



●感震ブレーカー比較一覧表(アース付き(もしくは三端子付き)コンセントに設置するタイプ)

機器番号	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
機種名	Ki 感震センサー (アース線タイプ)	Ki 感震センサー (三端子タイプ)	震太郎	一発遮断	地震みはりロボ	瞬断
設置箇所	アース付きコンセント	三端子コンセント	アース付き or 三端子コンセント	アース付きコンセント	アース付きコンセント	アース付きコンセント
機器写真						
参考価格 ※1	6,380 円	6,710 円	10,780 円	6,380 円	20,900 円	6,380 円
自己負担額	3,380 円 ●コンセントタイプでは安価	3,710 円 ●コンセントタイプでは安価	7,780 円 ☺比較的高価	3,380 円 ●コンセントタイプでは安価	17,900 円 ☹最も高価	3,380 円 ●コンセントタイプでは安価
遮断のタイミング	揺れを感知して3分後に遮断	揺れを感知して3分後に遮断	揺れを感知して3分後に遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知して0~3分後に遮断	揺れを感知後すぐに遮断
寸法(mm) 幅×高さ×厚み	機器本体:30×110×40	機器本体:110×30×40	機器本体:62×90×32	機器本体:74×56×36	機器本体:76×135×35	機器本体:45×45×32
設置方法	①機器本体を木ネジ(壁が石膏ボードの場合アンカー+木ネジ)で壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジ(壁が石膏ボードの場合アンカー+木ネジ)で壁に取り付ける ②三端子コンセントにプラグを差し込む	①三端子コンセントにプラグを差し込むか、アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジで壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジで壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体裏面の両面テープの剥離紙を剥がす ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む
特徴	●遮断まで3分の猶予があり、 避難時の照明が確保 できる ☺機器本体をネジで取り付けるため、 壁に穴があく	●遮断まで3分の猶予があり、 避難時の照明が確保 できる ☺機器本体をネジで取り付けるため、 壁に穴があく	●遮断まで3分の猶予があり、 避難時の照明が確保 できる ●機器本体を壁にネジで取り付ける必要がないため 壁に穴があかない	☺機器本体をネジで取り付けるため、 壁に穴があく	●遮断までの時間を0~3分間で設定でき、 避難時の照明が確保 できる ☺機器本体をネジで取り付けるため、 壁に穴があく	●機器本体を壁にネジで取り付ける必要がないため 壁に穴があかない
累計設置実績	約3% (第①位)	約0.3% (第②位)	約0.2% (第③位)	約0.1%	約0%	約0%

※1 参考価格は変動する場合があります。価格の変動があった場合、市のホームページを随時更新してまいりますので、最新の価格は市のホームページにてご確認ください。

※2 コンセントに設置するタイプの感震ブレーカーは、震度5強以上の強い揺れを感知すると疑似的に漏電を発生させ、分電盤の漏電ブレーカーを作動させることにより、ご自宅への電気の供給を遮断します。
ご家庭のコンセントをご確認いただき、アース付きや三端子付きコンセントに、空きがあれば取り付けることができます。